

かぬまスケッチ

2009 7/4 ~ 7/31

みなさんの楽しい話題やおもしろい情報などを広報広聴係へどしどしご連絡ください。

☎(63)2128まで



7/4 おはなしを載せて キャラバンカーがきたよ!

図書館本館に「全国訪問おはなし隊」のキャラバンカーがやってきました。これは、子どもたちに本と親しんでもらおうと講談社が都道府県を巡回しているものです。

大きなキャラバンカーには、本棚が備え付けられ、約550冊もの児童書が取り揃えてあります。集まった子どもたちは、次々に気に入った本を取り出し、夢中でページをめくっていました。また、絵本の読み聞かせや紙芝居も行われ、たっぷりと本と触れ合う時間を過ごしました。



7/5 保育園が きれいになりました

全建総連栃木県労働鹿沼支部は、6月25日の住宅デーにちなみ奉仕活動を実施しました。会員約30人が参加し、こじか保育園など市内5か所の公立保育園等の遊具塗装、施設修繕を行いました。

鹿沼支部による奉仕作業は今年で10回目を迎え、保育園の職員では修繕できない箇所をそれぞれの技能を生かして、きれいに直しました。この活動に参加した会員は、「子どもたちの喜ぶ顔を思い浮かべながら作業しました」と話してくれました。



7/6 市役所内に 証明書交付窓口が オープン

土地建物の登記簿や法人の印鑑証明書などの発行手続きができる「証明書発行請求機」が、市役所1階に設置されました。

この窓口は、今年5月に文化橋町の法務局鹿沼出張所が閉鎖されたことに伴い、一部の機能を肩代わりするものです。

オープン以来、1日に約50件の利用があります。また、これまで手書きで行っていた申請書の記入が、タッチパネルでできるようになり便利になりました。



7/14 校庭を緑の じゅうたんに!

鹿沼青年会議所が、北押原小学校の校庭の一部を芝生化する事業を実施しました。校庭の芝生化は、子どもたちの運動能力向上などに有効で、全国的にも広がりを見せています。

当日は、児童や先生、保護者など約540人が参加。約700平方メートルの区域に6,000本の芝の苗を植えました。

芝生の完成には2か月ほどかかりませんが、子どもたちは、芝生の上をはだして走り回るのを楽しみにしていました。

声の広報聞きませんか

広報広聴係 ☎(63)2128 FAX(63)2292

毎号テープでお送りします。お気軽に、広報広聴係まで電話またはファックスでお申し込みください。



9月 おすすめイベント

秋のゴールデンウィーク2009
この秋・花木センターが面白い

問い合わせ 花木センター ☎(76)2310

とき 9月19日(土)~23日(水)

ところ 花木センター

手頃な価格の小品盆栽の販売や地元の新鮮な野菜の直売など



7/16

鹿沼産ニラそばに
大満足!

市役所南側駐車場で、鹿沼そば商組合による「チャリティそば試食会」が開かれました。このイベントは、日ごろお世話になっている地元のみなさんに喜んでもらい、その売上を子どもたちの役に立てたいと始まったものです。

14回目となった今年は、「にらそば」が約300食、「ゆでたとうもろこし」が100本用意されました。毎年楽しみにしている近隣のみなさんや昼休み中の職員たちが、鹿沼産のそば粉で打ったそばを堪能しました。
売上金の一部は、古澤育英会に寄附されました。

地域に根ざしたサッカーの普及を図るために、鹿沼市サッカー協会主催の第22回鹿沼市サッカーフェスティバルが自然の森総合公園サッカー場で行われました。
参加者は友好都市の足立区のサッカー少年を加えた、幼児から大人まで過去最高の約1,500人。
子どもたちは、灼熱の人工芝の上で、ファミリーフットサルやミニゲームで元気いっぱい汗を流したほか、技能検定やサッカーサスケなどを楽しんでいました。

7/26

元気はつらつ
サッカー祭り



7/28

お手製ラジオで
何を聞くの?!

工業団地内企業の協力により、親子ラジオ組み立て教室が行われました。

参加した親子14組は、力を合わせてラジオを組み立てはじめました。はんだ付けやペンチの扱いにてこずる場面もありましたが、約3時間の作業で全員がラジオを完成させることができました。

子どもたちは、さっそくラジオの電源を入れ、聞こえてくる放送に耳を傾けていました。



7/31

豪雨でも見やすく
冠水情報掲示板設置



昨年8月に発生した水没死亡事故の現場に、道路の冠水状況をドライバーに知らせる発光ダイオード(LED)式の「冠水情報板」が完成しました。

センサーが路面の冠水状況を感知すると、水深10センチメートルで「通行注意」、20センチメートルになると「通行止め」と表示されるシステムです。

関係者と一緒に始動を確認した佐藤市長は、「二度と事故を発生させないよう今後も最大限の努力をしたい」と話しました。